

# 諏訪・岡谷地方の経済概況速報

平成23年12月

(平成23年11月末調査)

平成23年12月26日

長野県岡谷市郷田二丁目1番8号

**諏訪信用金庫**  
**経営相談室**

<http://www.suwashinkin.co.jp>

TEL 0266(23)4567

FAX 0266(23)8044

		実 数	前年同期比	
有効求人倍率【10月】	諏訪公共職業安定所管内	0.81倍	+0.14ポイント	
手形交換高【11月】 (諏訪手形交換所扱)	枚 数	7,400枚	△1,665枚	
	金 額	9,016百万円	△2,085百万円	
	うち不渡り	枚 数	5枚	+5枚
	発生状況	金 額	1,232千円	+1,232千円
電力使用量【11月】 (中電諏訪営業所管内)	電灯電力計	45,660 MWh	△10.5%	
	高压電力計	93,560 MWh	△6.9%	
	合 計	139,220 MWh	△8.1%	
車庫証明取扱件数【11月】(諏訪地方合計)		887件	△0.8%	
新設住宅着工戸数【H23.4月～10月】(諏訪管内)		695戸	+14.7%	

□本文は、当金庫の取引先約130社へのヒアリング調査による取りまとめ。

## 地域の概況

### ●製造業

自動車部品関連の下請企業の受注動向は、一部にタイの洪水の影響による減産や逆にスポット受注の動きがきかれるが、総体では概ね横這い圏内での動きとなっている。工作機械などの産業設備関連でも、一部でタイの水害により被害を受けた設備の修繕や新規納入の話があり、日系メーカーの海外工場向け等を含めて比較的安定した受注水準となっている。また、デジタル一眼レフカメラ関連の下請企業は概ね堅調な受注状況が続いている。

地域製造業全体では、歴史的な円高やタイの洪水被害などの影響が懸念されているものの、足元の生産水準は比較的堅調な推移となっている。

### ●商業

諏訪地方の11月の天候は、後半に冬型の気圧配置となり冷え込む日があったものの、月を通しては暖かい日が多く、月の平均気温は1945年の調査開始以来2番目の高さとなった。

このような天候の影響から、冬物衣料の動きは月の前半は弱かったものの、冷え込み始めた後半には子供や婦人向けを中心に動きがみられた。食料品では価格競争が一層激しくなっており、来店客数や売上高が減少したとする店舗が多くなっているなかで、岡谷市等では新設店舗の計画がきかれる。

家電店等での薄型テレビの売れ行きは、エコポイント半減前の駆け込み需要があった昨年同月に比べ大幅に減少しており、自動車販売では諏訪地方の11月の車庫証明件数（軽自動車除く）は887台と前年同月比△7台（△0.8%）の減少となった。

## ●観光業・サービス業

諏訪大社（上社・下社合算）の11月の参拝者数は約72千人と団体客・個人客ともに引き続き堅調に推移しており、御柱年の昨年に比べて約+9千人、通常年の一昨年に比べては約22千人の大幅な増加となっている。

上諏訪温泉の宿泊者数は、昨年の「信州ディステーションキャンペーン」の反動が懸念されていたものの、結果的には前年並みから20%程度増加した施設が多く総体でも10%程度増加した。また、高原の観光地のウィンターシーズンの予約には、東北方面等のスキー場からの振替需要がみられ、例年よりも入り込み客の増加が見込まれている。

なお、忘年会の予約件数は例年並みではあるものの、参加人数の小規模化や予算の低価格化がきかれる。

## ●建設業

市町村の11月の発注工事は、建築工事3件、土木工事・下水道工事74件、その他工事14件の合計91件468百万円で、前年同月比で件数は+24件増加したものの、契約金額は△106百万円の減少となった。県関係の11月の公共工事（地元業者受注分）は22件313百万円で、平成23年4月～11月の累計契約は126件2,660百万円と国道20号線のバイパス工事が計上されていた前年同期累計比で件数は△11件、契約金額は△798百万円の減少となった。

民間工事は、諏訪地方の10月の新設住宅着工戸数は46戸で前年同月比△43戸（△48.3%）の減少となった。また、平成23年4月～10月までの累計着工戸数は695戸で前年同期に比べ+89戸（+14.7%）の増加となっている。住宅金融支援機構の住宅ローン「フラット35S」の1%金利優遇の期限が9月末で終わり、駆け込み需要の反動により10月単月の着工戸数は減少した。

## ●雇用

諏訪地域の10月の有効求人倍率は、前年同月を+0.14ポイント上回り0.81倍と前年同月を19ヶ月連続で上回るなど緩やかではあるが改善傾向が続いている。また、全国の同倍率は0.67倍、長野県の同倍率は0.74倍となっている。

諏訪地域の10月の新規求人（全数）は1,290人で前年同月比+70人（+5.7%）の増加、新規求職者数は1,104人で前年同月比+25人（+2.3%）の増加となっている。業種別の前年同月比の新規求人数は、運輸業で143.5%、医療・福祉業で43.8%増加したが、飲食・宿泊業は33.0%減少した。

なお、10月の1件10人以上の人員整理は2件28人、事業主都合による雇用保険資格喪失者は71人で前年同月に比べ△11人減少、前月より+11人増加した。

## 業種別動向

### 1. 電気機械

プリント基板	企業により区々であるが、足元の受注は幾分弱含んでいる。
プリンター	下請企業の受注は弱含みの横這い状況が続いている。
コンタクター・ リレー	受注状況は引き続き堅調に推移している。

### 2. 輸送用機械

自動車	下請企業の受注動向は、一部にタイの洪水の影響による減産や逆にスポット受注の動きがきかれるが、総体では概ね横這い圏内での動きとなっている。
ピストンリング・ シリンダーライナー	一部で円高の影響もみられるが、地域企業の受注状況は比較的堅調である。
船外機	新興国向け機種受注が好調で、引き続き高水準の生産が続いている。

### 3. 一般機械

工作機械・専用機	一部でタイの水害により被害を受けた設備の修繕や新規納入の話もあり、日系メーカーの海外工場向け等を含めて比較的安定した受注水準となっている。
搬送用機械	各業種向けとも概ね安定した受注となっている。海外工場向けの受注増加もきかれる。
金型	足元の受注動向に大きな変化はみられない。スマートフォン向けで新規案件の動きがきかれる。
ダイカスト	企業により区々であるが、自動車関連向けの受注は回復傾向である。

### 4. カメラ・レンズ

デジタルカメラ	全国のデジタルスチルカメラの10月の生産台数は1,231万台で前月比△9.3%減少、前年同月比△8.4%減少となった。10月の出荷台数は国内出荷83万台、海外出荷1,205万台の合計1,289万台で出荷台数全体では前月比△1.8%減少、前年同月比△5.4%減少となっている。デジタル一眼レフカメラ関連の下請企業は、概ね堅調な受注状況が続いている。
レンズ	円高等の影響から価格競争が激しくなっている。

## 5. 織 維

ニット

冬物生産のピークであるが原材料の入荷遅れがきかれる。また、春夏物のサンプル生産では、例年にも増して点数の増加がみられる。

## 6. 食 品

寒天

スーパー向け等で弱含み感がきかれるが、直売等は堅調である。

味噌

需要期を迎え、出荷は平年並みとなっている。内食傾向の強まりから、今冬の受注増加を見込む声もきかれる。

## 7. 製 材

諏訪地方の10月の木造住宅着工戸数は39戸で、前年同月に比べ△25戸の減少となった。在来工法の住宅の受注減少傾向は続いている。

## 8. 建 設

公共工事

11月に地元業者が受注した県関係の公共工事は、諏訪建設事務所13件、林道治山工事関係6件、農地整備課3件の合計22件、契約金額313百万円となった。また、平成23年4月～11月の累計契約は126件2,660百万円と国道20号線のバイパス工事が計上されていた前年同期累計比で件数は△11件、契約金額は△798百万円の減少となった。市町村の11月の発注工事は、建築工事3件29百万円、土木工事及び下水道工事74件285百万円、その他工事14件153百万円の合計91件468百万円で、前年同月比で件数は+24件増加したものの、契約金額は△106百万円の減少となった。

民間工事

諏訪地方の10月の新設住宅着工戸数は46戸で前年同月比では△43戸（△48.3%）の減少となった。前年同月比の利用関係別では、「持家」は△25戸減少の44戸、「貸家」は△12戸減少の0戸、「分譲」は△6戸減少の2戸となった。平成23年4月～10月の年度累計は695戸で前年同期累計に比べ+89戸（+14.7%）の増加となっている。また、長野県内の10月の新設住宅着工戸数は718戸で、前年同月比△15.5%の減少となっている。なお、前年同月比の利用関係別では「持家」が538戸で△5.6%減少、「貸家」が123戸で△41.1%減少、「分譲」が53戸で△23.2%減少となった。住宅金融支援機構の住宅ローン「フラット35S」の1%金利優遇の期限が9月末で終わり、駆け込み需要の反動により10月単月の着工戸数は減少した。

## 9. 商業

今年の商業の動向は、震災直後には食料品や防災用品の「買いだめ」の動きがあり、夏には扇風機や簾などをはじめとした節電対策用品の売れ行きが伸びた。しかし、地上デジタル放送への移行が完了したことから薄型テレビの販売は落ち込み、自動車販売では震災による新車の供給不足や昨年までのエコカー補助金の反動などがみられた。

来年も引き続き「エコ」や「節電」をキーワードとした消費者行動が見込まれている。

衣料	冬物衣料の動きは月の前半は弱かったものの、冬型の気圧配置となり冷え込み始めた後半には子供や婦人向けを中心に動きがみられた。
食料品	価格競争が一層激しくなっており、来店客数や売上高が減少したとする店舗が多い。岡谷市等では、新設店舗の計画がきかれる。
家電製品	薄型テレビの動きは、エコポイント半減前の駆け込み需要があった昨年同月に比べ大幅に減少している。
自動車	諏訪地方の11月の車庫証明件数（軽自動車除く）は887台と前年同月比△7台（△0.8%）の減少となった。震災の影響による新車の供給不足は解消されたが、一部の車種でタイの洪水の影響がきかれる。
ホームセンター	節電用品や年末に向けた掃除用品、また季節商材の動きは堅調である。

## 10. 観光

今年の観光業は、東日本大震災や長野県北部地震の直後には宿泊のキャンセルが相次ぎ春の観光シーズンは厳しい状況だったものの、首都圏での節電への取り組みなどから夏は個人の避暑客が増加し、秋には団体客の入り込みも回復した。

また、秋の観光シーズンは昨年「信州DC」の反動が懸念されていたものの、諏訪大社の参拝客数やドライブインへの立ち寄り人数が好調を維持するなど、入り込み客は堅調に推移した。一方、日帰りや通過型の観光客の比率が高く、いかに宿泊に結びつけるかが引き続き課題となっている。

上諏訪温泉	秋の観光シーズンは昨年「信州DC」の反動が懸念されていたものの、宿泊者数は前年並みから20%程度増加した施設が多く、総体でも10%程度増加した。
蓼科・白樺湖・車山等	11月の宿泊者数は前年並みだったものの、スキー場がオープンするウインターシーズンの予約状況には東北方面等からの振替需要がみられ、例年よりも入り込み客の増加が見込まれている。
下諏訪温泉	忘年会の予約状況は比較的堅調であるが、客単価の低下がみられる。
諏訪大社	上社・下社合わせた11月の参拝者数は約72千人と団体客及び個人客ともに引き続き堅調で、御柱年の昨年と比べ約+9千人、一昨年と比べては約+22千人の大幅な増加となっている。